

議会報告



第415号



市議会議員

岩室 年治



市議会議員

橋爪 明子

日本共産党逗子市議会議員団

発行2007年9月 「逗子民報」議会報告版

市役所 873-1111 (控室内線416) 事務所 沼間2-15-4 871-1321

1面 緑と景観、開発問題 2面 一般質問(福祉・介護など)

第2回定例会

第2回定例会は、6月21日～7月10日までの20日間開かれました。補正予算は逗子小ふれあいスクール棟整備費、世界遺産登録に向けた推進協議会負担金等が提案され可決。一般職の任期付職員の採用等に関する条例は賛成多数で可決。日本共産党は反対しました。

逗子海岸の岬、景勝地にドライブイン計画



逗子八景「浪子不動の秋月」

逗子海岸沿いの国道134号線に突き出た岬にドライブイン計画が浮上。

市は公有地を売却し、開発に協力するため「市道の廃止」を議会に提案。議会は全会一致で否決しました。予定地は市街化調整区域、第1種風致地区、自然環境保全地域です。

市長が市道を売却し、開発に協力する提案 議会は全会一致で反対、景観保全求める

開発予定地は600㎡以上もありますが、事業者は「計画」を299.49㎡で申請。市の条例(300㎡以上を対象)逃れは歴然でした。又過去にも度々「計画」が浮上、歴代市長は開発を拒んできました。

平井市長が開発に協力することは「緑と景観の保全」という公約に反することから、審議では厳しい批判が集中しました。共産党は議案の撤回を求めましたが、市長は頑なに拒みました。議案の否決後、質問で市長は「議会の意思を尊重したい」と保全に取り組む意向を示しました。



市道がある岬

続々と開発計画、問われる市長の姿勢 市民の強まる危機意識、緑と景観保全の声

ハイランド開発問題で 市長は議会への諮問を拒む

ハイランド開発問題で2件の決議が可決され、議会はまちづくり条例第35条4項に基づいて、開発事業計画について議会へ諮問するように求めていました。市長は「諮問する考えはない」と議会へ伝えてきました。しかし、今後、事業者が条例に反した場合、61条(不履行措置)と65条(罰則規定)を適用する上で、諮問による議会の意思が必要です。



市が同意していない開発地

ハイランドにペット霊園 早急に規制条例制定を

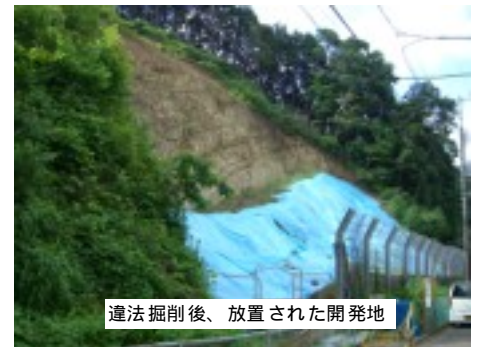
ハイランド自治会館裏の斜面緑地にペット霊園計画が持ち上がり、市は条例か要綱の「検討を約束」していましたが具体化されず、現在工事が進められる状況となっています。ペット霊園は何ら法令規制がなく、勝手に作られてしまうことから、改めて早急に条例を制定するように求めました。



樹木が伐採された霊園予定地

桜山5丁目違法工事で業者が雲隠れ その後、大規模開発計画が浮上

桜山中央公園に隣接し、台山緑地に挟まれた緑地に105戸のマンション開発計画が持ち上がっています。当初は戸建て4戸の小規模な開発であったものが、業者が計画地以外も掘削、法令違反で工事が中止となり、業者が音信不通、雲隠れする事態が発生。共産党は原状回復と安全対策を求め、一部土砂撤去・シート保護などされました。住民から不安の声があがる中、手続きの取下げもなく、新たな事業者が計画地の周辺用地も買取り、大規模な計画に変更する状況です。8月11日公聴会では公述人全員が貴重な緑地と景観の保全を求める立場から公述しました。共産党は一般質問で再度安全対策と手続きの不備を指摘し、対応を求めました。



違法掘削後、放置された開発地

意見書・決議	賛成 (可) = 可決	反対	共産党	民主党	公明党	政風会	次世代	市政ク	市民自	無会派
	(可) = 可決		2	4	2	3	2	2	2	4
「消えた年金問題」対応求める意見書(可)							/			3 1
自衛隊の国民監視活動中止求める意見書(可)							/			3 1
クラスター爆弾禁止条約締結求める意見書(可)										4
米兵による女性殺人未遂事件の抗議決議(可)										4

小坪2丁目県有地(通称はげ山)を都市公園に



市民の憩い場となっている県有地

緑地保全が強く要望されている県有地について、現時点で特養ホーム進出の動きが無くなり、開発業者への売却も考えられる状況です。共産党は「みどりの基本計画」にそって、市が実施主体で、国の補助金も得て都市計画法の「都市公園」、都市緑地として公有化することを求めました。

市長はあくまで県主体による保全などを要望していると答弁。市が実施主体で保全を図ることについての明言は避けました。

介護保険

238人の待機者解消を
特養ホーム早期整備で

待機者が増える一方で整備の目途がたたない状況です。池子接收地内も含めた検討を強く求めました。

要介護認定者2312人へ
障がい者控除を

他自治体では交付申請書を個別送付した結果、要介護認定者の半数が認定され減額されています。個別通知の実施を求め、市は制度の周知に向けて「検討して実施していきたい」と約束しました。

学童保育

逗子小学校区、9月に開設
待機児童つくりたくない対応

入所希望も多いことから待機児童を生まないように対応を求め、市長も努力を約束。大谷戸会館の建替え計画の中で学童保育を設置する方向でしたが予算化されず、早期整備を求めました。市長は公共施設の配置と機能を再検討するとしました。

小坪小学校区
大谷戸会館の早期整備を

ごみ広域化

世界遺産の名越に40メートルの
生ごみバイオ施設はできるのか？

バイオ施設予定地の名越は世界遺産登録からも高層建築物はでき

ず、候補地は事実上暗礁に。鎌倉市議会でも問題になっていました。市長は「変更は聞いていない」と答弁。今後の情報提供と説明責任の観点からの努力は約束しました。

はたの君枝さん善戦、比例445万票3議席



逗子市では、日本共産党の得票数と得票率とも前進することができました。

参議院議員選挙の結果

はたの君枝	2778票	日本共産党	2274票
当 牧山ひろえ	7890票	民主党	12364票
当 水戸まさし	5842票		
当 小林ゆたか	8390票	自由民主党	9382票
松 あきら	3891票	公明党	2385票
和田しげる	983票	社会民主党	1618票
斉藤さちこ	428票	国民新党	395票
溝口 敏盛	159票	新党 日本	1099票
小林陣営(自民)から逮捕者！金権政治は許せません			

病院誘致

毎年1億3千万円の財政負担
市民に財政見通しを示すべき

ヨゼフ病院の誘致にあたり、市は24時間の2次救急医療の実施を決め、委託費1

億3千万円を毎年負担する方針です。共産党は「病院誘致条例」の第4条(財政負担の軽減)「市長は負担について、建設用地の貸与等の必要最小限に努める」という立場から、負担の根拠と財政見通しを示すように求め、市長は「人件費の圧縮で支出は可能」と断言しました。しかし、行政全般の具体的な財政見通しは未だに示されていません。また、1次救急(年間約7千万円)と2次救急の診療機能が重複することから、事業の一元化はできないかと質しましたが、市長は「1次と2次の切り分けが必要」と答弁。1次救急の逗葉地域医療センターの休日夜間診療の継続方針を明言しました。

池子問題

国が追加建設700戸の基本構想発表
2010年着工の工事差し止め訴訟を

池子の森裁判の控訴断念後、反対姿勢を貫く立場であれば工事差し止め訴訟と横浜側からの車両の通行を認めない姿勢を明らかにすべきと質しましたが、市長は明言を避けました。



横浜側六浦ゲート

障がい者福祉

視覚障がい者への支援サービス充実
音訳者の養成と図書館への配置を

音訳者による対面朗読は、他市の窓口業務や図書館で実施されています。市長と教育委員会とも、職員の意識と能力向上と図書館サービスも検討していきたいとしました。

教育

競争と序列化を進める
学力テストはやめるべき

全教室にエアコン設置
学校図書館の充実を

全国学力テストは、犬山市を除き全国で実施。他の学力テストでは不正事件も発覚、問題点と個人情報保護審議会からの意見と対応を質しました。教育委員会は必要性を強調しながらも、序列化にならないこと個人情報の保護に配慮する見解を示しました。

エアコン設置は、前市長が検討を約束しながら予算化されませんでした。教育委員会は変圧器増設等を含めた整備となり、財政状況から非常に難しいが市長との協議を約束。

図書館の充実は、国の図書館整備5カ年計画にそって整備充実を図りたいとしました。



東逗子駅公有地

公有地の土地利用方針は
有効活用で財源確保を

東逗子旧清算事業団用地と市役所裏用地の活用方針など公有地(空地)の有効活用を質し、「公共施設のあり方、広告設置など導入の是非を含めて検討する」と消極的な答弁に止まりました。

池子小プールの夏休み開放 市民の声で事業復活、実施へ

昨年、池子小プールの開放が中止され、再開を求める陳情を議会は了承。しかし予算化されませんでした。夏休みを前に改めて市民要望が出され、市長は実施を決めました。今年は池子50mと飯島の市営プールも使用中止となり、共産党は池子小プールの夏休み開放を求めています。



池子小プール